



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 丸紅建材リース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9763 URL <http://www.mcml-maruken.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清水 教博
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経営管理本部長 (氏名)齊藤 正視 (TEL) 03(5404)8200
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,574	16.9	147	17.0	255	34.2	235	54.7
25年3月期第1四半期	3,913	△10.8	126	3.9	190	14.8	152	2.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 318百万円(87.1%) 25年3月期第1四半期 170百万円(15.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	7.06	—
25年3月期第1四半期	4.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	29,163	8,652	29.7
25年3月期	29,505	8,434	28.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 8,652百万円 25年3月期 8,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△0.0	450	△3.3	550	△26.0	500	△24.5	14.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、業績管理を年次で行っているため、開示しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	34,294,400株	25年3月期	34,294,400株
26年3月期1Q	934,433株	25年3月期	933,418株
26年3月期1Q	33,360,055株	25年3月期1Q	33,391,125株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における我が国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和により、円安・株高基調で推移しましたが、企業の設備投資は未だ低調であり、新興国経済の減速も懸念されるなど、依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く建設業界は、前年度同様に東北地方での震災復旧・復興関連事業や首都圏の再開発・インフラ整備等の大型プロジェクトが進捗しましたが、その他地域では、公共投資増加の期待はあるものの、足元の建設需要は低迷したままであり、全体としては厳しい環境が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループは、今年度から3ヶ年の中期経営計画がスタートし、その基本方針である「安定的な収益確保による成長に向けての礎構築」に基づき、収益基盤の強化に取り組みました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高45億7千4百万円（前年同四半期比6億6千万円、16.9%増）、営業利益1億4千7百万円（同2千1百万円、17.0%増）、経常利益2億5千5百万円（同6千5百万円、34.2%増）、四半期純利益2億3千5百万円（同8千3百万円、54.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①重仮設事業

首都圏や東北地方を中心に賃貸稼働量、販売量共に増加したため、売上高は35億6百万円（前年同四半期比4億7千1百万円、15.5%増）、セグメント利益は2億6千5百万円（同5千1百万円、24.2%増）と増収増益になりました。

②重仮設工事事業

首都圏の再開発等の工事案件が進捗したため、売上高は4億8千1百万円（同1億4百万円、27.6%増）と増収になり、セグメント利益は6百万円と、前年同四半期の3百万円のセグメント損失から1千万円の改善となりました。

③土木・上下水道施設工事等事業

受注済物件が進捗したため、売上高は5億8千6百万円（同8千5百万円、17.1%増）と増収になったものの、利益率の低下により、セグメント利益は3千1百万円（同2千1百万円、39.8%減）と減益になりました。

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の資産の部は、受取手形及び売掛金の減少額2億2千万円や建設機材の減少額1億4千8百万円などにより、前期末比3億4千2百万円減の291億6千3百万円となりました。

負債の部は、借入金の減少額6億3千5百万円などにより、前期末比5億6千万円減の205億1千万円となりました。

純資産の部は、四半期純利益2億3千5百万円の計上などにより、前期末比2億1千8百万円増の86億5千2百万円となり、自己資本比率は1.1ポイント増の29.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成25年5月7日公表の平成26年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,257	1,255
受取手形及び売掛金	7,097	6,876
建設機材	9,083	8,934
商品	115	82
材料貯蔵品	294	292
未成工事支出金	30	107
その他	278	152
貸倒引当金	△95	△84
流動資産合計	18,061	17,617
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,087	8,058
その他(純額)	1,144	1,150
有形固定資産合計	9,231	9,209
無形固定資産		
	4	4
投資その他の資産		
その他	2,616	2,428
貸倒引当金	△408	△96
投資その他の資産合計	2,207	2,332
固定資産合計	11,443	11,546
資産合計	29,505	29,163

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,270	6,395
短期借入金	9,327	9,182
未払法人税等	68	22
引当金	21	27
その他	1,267	1,256
流動負債合計	16,955	16,884
固定負債		
長期借入金	2,689	2,199
引当金	187	181
その他	1,239	1,245
固定負債合計	4,115	3,625
負債合計	21,071	20,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	3,208	3,344
自己株式	△129	△129
株主資本合計	6,654	6,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86	106
土地再評価差額金	1,820	1,820
為替換算調整勘定	△127	△63
その他の包括利益累計額合計	1,779	1,862
純資産合計	8,434	8,652
負債純資産合計	29,505	29,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,913	4,574
売上原価	3,287	3,919
売上総利益	626	655
販売費及び一般管理費		
役員報酬	32	35
給料手当及び賞与	232	243
福利厚生費	47	48
地代家賃	43	43
退職給付費用	20	21
その他	124	114
販売費及び一般管理費合計	500	507
営業利益	126	147
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	5
持分法による投資利益	71	96
貸倒引当金戻入額	—	20
その他	20	11
営業外収益合計	95	134
営業外費用		
支払利息	26	23
その他	5	3
営業外費用合計	32	27
経常利益	190	255
税金等調整前四半期純利益	190	255
法人税、住民税及び事業税	38	16
法人税等調整額	△0	3
法人税等合計	37	19
少数株主損益調整前四半期純利益	152	235
四半期純利益	152	235

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	152	235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	20
持分法適用会社に対する持分相当額	37	63
その他の包括利益合計	18	83
四半期包括利益	170	318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170	318
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,035	377	500	3,913	—	3,913
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	0	△0	—
計	3,035	377	500	3,914	△0	3,913
セグメント利益又は損失(△)	213	△3	52	262	△136	126

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△136百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,506	481	586	4,574	—	4,574
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	0	△0	—
計	3,506	481	586	4,574	△0	4,574
セグメント利益	265	6	31	303	△156	147

(注) 1 セグメント利益の調整額△156百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。